

第 6 回 新宿区交通バリアフリー推進委員会

議 事 要 旨

議事内容

1. 議事次第

- 1) 第 9 回新宿駅周辺地区交通バリアフリー推進部会について
 - ・ 平成 20 年度特定事業計画の進捗状況
 - ・ 新宿駅周辺地区鉄道駅の調査結果
- 2) 第 5 回高田馬場駅周辺地区交通バリアフリー推進部会について
 - ・ 平成 20 年度特定事業計画の進捗状況

2. 主な議事内容

特定事業計画について

- ・ スパイラルアップを図るうえで、P (Plan : 計画) D (Do : 実行) C (Check : 評価) A (Act : 改善) が重要になるが、何をどこまでやるかといった基準が明確になっていない。今後考えていく必要があるだろう。
- ・ バリアフリー化の整備目標年次である平成 22 年以降について、スパイラルアップの取り組み方や体制などを検討していく必要があるだろう。
- ・ 特定事業計画の推進にあたっては、今回実施した新宿駅周辺地区の鉄道駅調査のように、バリアフリー化するうえで個々の施設が抱える課題などについて、より詳細な検証をしつつ進めて行く必要があるだろう。

サービス介助士について

- ・ 現在のところ、車いすへの対応が中心的となっており、精神障害者や発達障害者等への対応では不十分なところが見受けられる。